

2015年4月（第103回）例会のご案内

○ 月例会・4月26日(日)

やいろ鳥の会 会長 坂本 勲

HP <http://khj-yairo.org/>

E-mail ja5cin@arion.ocn.ne.jp

居場所 といろ について

伊野町波川のといろは3月31日のお花見イベントをもちまして閉所しました。新しい居場所は高知市大津の関(せき)に開所準備を進めています。高知県の補助金が使えるようになるのが6月末から7月中頃になるのでそれからの開所になります。3ヶ月ほど居場所が使えませんが、火曜の家族サロンに集まったり同封の青年期の集いに参加したりできます。少し不便をお掛けしますがよろしくお願ひします。開所の前には掃除や備品の運び込み、組み立てなどが必要です。お手伝いできる人はよろしくお願ひします。

平成26年度の家族サロンは47回開催してのべ参加者は540人でした。月例会やサロンに参加して有益な知識を得る、溜まったストレスや不安を言葉にして心を軽くする、**しんどさは話す事でそのしんどさを放す事ができます**。サロンでの会話と並行して無料で隣接する支援センター(088-821-4508)での個人面談も併用する事ができますのでご利用をお勧めします。

前回の月例会はミニひきこもり大学として若者達3名のスピーチを聴きました。といろのスタッフとしての仕事をする傍ら、親が変われば子が変わるという標語に照らして親達を観察してのスピーチ。あるいは、厳しい家庭環境の中で家族を許すために八十八カ所巡りに出た若者は、家族を許せても自分はどうしたら良いのかが判らなかつたと言った。別の若者は、私はある意味親の人生を引き受けていたのかもしれないと言った。それぞれの生き方が表現されていたと思ひました。

4月26日、平成27年度最初の月例会は松田先生です。

先生は東かがわ市で長い間ポレポレ農園を運営されているカウンセラーです。

困難さを抱えた若者を受け入れて農作業などを通じて快復をはかっています。

4月26日の午前中は月例会会場で個別面談をしていますので、面談希望の方は直接松田先生(携帯 090-8695-0904)に申し込んで下さい。料金は約30分で3000円です。

4月の月例会

1) 日時 4月26日(日) 13:30~16:30

2) ★13:00~13:30 受付

★ 13:30~16:30 松田先生の指導/質問もできます。

3) 会場 高知市東部健康福祉センター3階和室

高知市葛島4-3-3 ☎088-882-9380

やいろ鳥の会活動カレンダー

◆ 5月24日 ◆ 6月28日午後1時半～午後4時半 会場は2階研修室 講師は未定

年会費

26活動年度会費は1家族3000円となりました。平成26年8月から平成27年7月までの年会費です。(家族サロン&月例会の会場でも納入できます。)

振込先は 四国銀行 山田支店 (普) 0602101

全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいろ鳥 代表 竹中あおい

家族サロンのご案内

毎週火曜日(13:30～17:00) 県立精神保健福祉センター(高知市丸ノ内2-4-1 保健衛生総合庁舎2階 高知城の北・県警の南側の建物の2F)で開催されています。世間話や、体験談など何でも話し合えるところです。何時に来て何時に帰っても構いません。予約も不要ですのでお気軽においで下さい。当事者や兄弟姉妹の方も参加できます。駐車は入り口の守衛所で「精神保健福祉センターに行きたい」と言えば入れてくれます。ひきこもりに関する相談は・・・県立精神保健福祉センター ☎088-821-4966 又は ひきこもり地域支援センター ☎088-821-4508 で受けてもらえます。(無料)

2014年12月31日のフェイスブックの書き込みから

Aです 子供が今よりも深くひきこもっている何年か前までは私は何とかして少しでも元気になればと考えていろいろ試してみたのですが、それらが肯定的否定的以前の事として子供には侵襲的だったんだろうなと思えます。いろいろやる事は大切なんだが、当人の心の都合のことをもっと想像してみるほうが順序として先だったのではないだろうか。先ず安心を与え続けて信頼関係が整った範囲で・・・という事かしら。

「Aさんそうですね。ひきこもっている時には、肯定的否定的関係なく刺激が全部脅威になり侵襲してくる感じになりますね。虐待でも、DVでも、イジメでも、他者からのケアが一番必要な人に限って、人と関わること自体が暴力的な意味合いを持つから、ケアされないというやるせなさあります。支援者(ケアギバー)が、ひきこもっている人に対して私と関わっても世界は崩壊しないよ。悪いことは起きないよ。ってことを穏やかに伝え続けて実現し続けてやっとなら悪くないかも。敵じゃないかも。と傷を負った人が思えるようになって、初めて本格的なケアが始まるのだと思います。なんとかしてあげたいという自分の思いと、相手の思いとをよろしく折り合いつけることができる。というのが支援者の重要な資質だと思っています。自分の思いが高まってケアする時は、たいがい暴力的なもの。」